２０２６年　４月

～第 109 号～

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

『春の特別講演会』・春の特別企画展『「立ち上がった住民、取り戻した清流」写真展』を開催します

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

資料館では、開館記念日に合わせて 4 月 29 日（水・祝）に、春の特別講演会を開催します。

日時：4 月 29 日(水・祝)　14：00～15：20
場所：イタイイタイ病資料館 2 階
　　交流学習ルーム（WEB 参加も可能）
参加料：無料

今回の特別講演会では、富山県立大学工学部 環境・社会基盤工学科 講師 三小田憲史(さんこだ けんし)氏に「現代の環境汚染問題と対策のための調査研究」と題し、ご講演いただきます。

この講演会では、日本国内外を対象に、河川・海域における化学物質やマイクロプラスチック等による環境汚染問題に関する研究に取り組んでこられた先生に、これまでの研究内容やその研究を通して得られた知見、今後の課題についてご紹介いただきます。

なお、参加にあたっては、事前申込みが必要です。案内チラシ裏面の参加申込書に必要事項を記入の上 FAX 又は資料館ホームページの参加申込フォームからお申し込みください。ただし、先着順により会場定員(50 名)に達し次第申込みを締め切らせていただきますのでご了承願います。

また、4 月 24 日(金)～5 月 6 日(水・振休)のゴールデンウイーク期間中、資料館 1 階 展示室通路にて『「立ち上がった住民、取り戻した清流」写真展』を開催します。(4 月 27 日(月)は休館日)

事前申込みは不要で、入場は無料です。

この機会に、イタイイタイ病や環境問題について今一度、考えてみませんか。どちらのイベントにも、多くの方々のご来場をお待ちしております。

案内チラシは、資料館ホームページからもダウンロードできます。
「資料館ホームページ」
（URL：https://www.pref.toyama.jp/1291/kurashi/kenkou/iryou/1291/index.html）

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を開催しました

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

2 月 8 日（日）、資料館 2 階 交流学習ルームにおいて『イタイイタイ病を考える県民フォーラム』を会場と WEB で開催しました。会場には 64 名、WEB では 17 名の方々にご参加いただきました。

新田八朗富山県知事の挨拶の後、社会福祉法人恩賜財団済生会の炭谷茂理事長に「ウェルビーイングのまちづくりを目指して～公害の教訓を生かす～」と題し、特別講演をしていただきました。

この講演では、日本での公害が生活弱者を苦しめた事実の反省をもとに、環境と福祉を結び付け、ウェルビーイングに向けた各国の事例や、公害の記憶の伝承や環境活動の大切さについてお話しいただきました。参加者は興味深く聴講していました。

富山県知事挨拶

特別講演（炭谷茂氏）

後半は、次代を担う若者たちによる発表が行われました。

最初に、富山市立新保小学校 5 年生の児童 6 人が、資料館を見学したり調べたりして分かったことから、自分たちの生活を見つめ考えたことをまとめて発表しました。

次に富山市立西部中学校 1 年生の生徒 2 人は「僕たちの身近に起きた公害 イタイイタイ病について」というテーマで、イタイイタイ病によって生じた人々の苦しみや、再発防止のために行っている取り組みについて、実際に資料館を訪れることで学んだことを発表しました。

～次代を担う若者たちによる発表～
（富山市立新保小学校、富山市立西部中学校）

最後に、野田館長による令和 7 年度の資料館事業報告ののち、閉会しました。